

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	(A) 普通注記 [B] 除いた共通語 [C] 除いた特殊語	ページ (/)
項目名 辛い			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3649.16	karɛ, karɛに近くも聞える。	
3699.55	カリエ → 一般的、[リエ]は[リ]の口の恰好で[レ]を言った際の音。	カリエ カリエ
3744.33	*カライ	
3784.87	*カレ	
4638.43	karɛ:, 連用形は、次の通り。karɔ:- de kwanɛ: (辛くて食われぬ)	
4653.02	karai <049と発音を区別する>	
4667.33	カレ (karê)	
4672.19	karɛ: (調査者が「外に言う方はいま	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (2)
項目名 辛い			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	せんか」と問うた答.)	
4654.52	nambangarai (塩の味と区別する必要のある場合)	karai
4676.60	karɛ	
4711.41	[karɛ]	
4714.68	kaɬae (そんざつに発音すると, kaɬɛ: になる.)	
4721.36	[karaɛ]	
4731.42	[karaɛ]	
4731.85	[karaɛ]	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記のく > () [] は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (3)
項目名 辛い			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
4746.20	kaɽae (最後がɛ:という音にはなりぬ)	
4760.64	[karae]	
4770.62	kaɽai (kaɽɛ:と言やぬと言いか、どうてあろうか。)	
5579.79	ナンバンカライ (ナンバンはとうかざしのこと)	
5591.60	カライ ^{ka} [ɽɛ:]	
5635.65	カライ (共)	
5636.74	カレエ (新)	カライ
5603.88	karai	
5604.65	カレア kare:	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は敬密にする。

質問番号 050	地図番号 040	(A) 普通注記	ページ
項目名 辛 <small>ウ</small>		(B) 除いた共通語	
		(C) 除いた特殊語	(4)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
5609.26	kare: , eは少し <small>ウ</small>	
5631.16	kare: 〈!田各式〉	karai
5644.74	カレ <small>ウ</small> 〈共〉	
5655.57	カライ (共)	
5657.73	カライ (共)	
5677.28	カライ. 〈カレナアと <small>ウ</small> のように〉	
	(ただし被調査者はカレ <small>ウ</small> とは言 ぬ <small>ウ</small> 。実際は使っていると思うが)	
5688.37	カライ, オ-の答は, ヒリヒリスルと <small>ウ</small> 答 たらたか, 趣旨に合 <small>ウ</small> そう <small>ウ</small> に <small>ウ</small>	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 050	地区番号 040	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (5)
項目名 辛い			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	いので訂正して、二番目においた。 かとり除いた。	
5690.96	nan bankarai (jio karaiに訂正して言う とはらうい。)	Karai
5697.24	カライ (カシエとは訛らうていうと。)	
6411.66	* カシ。	
6413.76	カイヤ。 辛い。	カライ
6424.20	Karæi (karæeとすいきか。)	
6456.57	dogarjæ: <猛烈に辛い時>	Karjæ:
6462.59	カライ (49と発音は異なる)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

頁間番号 050	地図番号 040	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ
項目名 辛い			(6)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6476.93	カライ。カローテノセルカ。という。ノセルカとは "たまるものか。我まんがでるかの意。	
6486.07	カライ。コトツガラシヒツモカローナイ テナイカ。	
6491.49	karai 〈?〉(海岸部の大浜部落では kara:という。)	
6500.83	カライ [ræ:]	
6507.13	ナンバカライ 〈ショウカの場合にはショウカカ コショウカライ ライと言う。〉	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	A 普通注記	ページ
項目名 辛 い		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(7)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6540.16	karai, とじからしの辛さを karai の典型とする。他は詳しく言えは、jo:-karai, jo:nakarai, sanjo-narai などとなる。	
6564.33	karai < カライは、塩、こしょう、大根のおろしたもので、唐辛子などに用いる。しょう油は、イカライ、芋のからくえいものは、イカイと言う。 >	
6573.17	karai < 芋のときは「イカイ」「イカライ」を用いる。 >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	① 普通注記	ページ
項目名 辛い		[B 除いた共通語]	(8)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6575.17	ヨオキワくカライとは言ふ。>	
6581.52	ドンカライく程度の高ーもの>	カライ
6583.93	karja:, rjは3に近くなる。	karai
6603.08	カレエ〔右〕	カライ
6617.34	?-karai	
6619.76	kare:, この場合の[re:]は一音節もまかに伸ばして長音はふ。サヤ伸ばして発音する程度。	
6620.53	nambakarai <単にカライとは言わぬ>	
6626.30	şirinaraï <昔>	karai

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (9)
項目名 辛い。			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6626.71	karæ: 〈その時の感じによって〔atsui〕 とも言う。〉	
7248.49	karuka 〈iratsukuとも言う。〉	
7249.35	カアカ (049をカラカとし, 050をカアと して区別して答えたが、必ずしも 両方を区別してはいないと思われ る。カラカ, カアカを両方ともに 用いるのではあいか。)	
7284.16	karaka. 辛い。	kakka
7303.17	karai, 味は異うが、同じに言うと笑え。	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< > () [] は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	A 普通注記 B 除いた共通語 C 除いた特殊語	ページ (10)
項目名 辛い			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7303.29	pirit:osuru (カライ?) sirisirusuru	
7313.34	karai (049とアクセントを異にする)	
7320.59	!kanaka (!は味を連想のため である。)	
7324.24	karai (同じカライでも、各地でaccent に大きな差がある。一々注記し たが、注意して整理した。)	
7332.46	karaka. <時に言う>	kare:
7339.27	karai <piripiritosurunoda sura-	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (//)
項目名 辛い			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	na > と笑っていた。	
7340.24	karaka (塩からうたを、辛子のからいのを 言いわけると、本人は言うが、明 確でない。はじめは049をカラカ 050をカルカというあとで訂正 (た。))	
7342.12	!karai (!は唐辛子の連想による)	karaka.
7349.07	karai (kare:, kare, kara: と発音 する人もある。32年調)	
7372.27	PシヤP <親近語>	Pマカ.

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	<input checked="" type="radio"/> A 普通注記	ページ
項目名 辛い		<input type="checkbox"/> [B 除いた共通語]	
		<input type="checkbox"/> [C 除いた特殊語]	(12)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7375.96	karë: 説明書参照	
7380.74	カルカ [kafuka], カリィ [kari:]	
7381.97	カルカ [kafuka]	
7382.58	トンガラシキイトツ <味としては言わない> <カラカとは言わない>	
7383.83	<[カラカ]>	
7385.61	karë:, ë... 説明書参照	
7390.70	カルカ [kafuka]	
7391.44	カルカ [kafuka]	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	A 普通注記 [B 除いた共通語] [C 除いた特殊語]	ページ (13)
項目名 辛い			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7403.21	karai <唐辛子がききすぎてるのを。 dotsugarai, kuenae などと言い> (dosugarai) ⇒ おこった調子で	
7410.57	? karai (<karai de jo: na> と答えた)	
7503.48	kara: <古>	karai
7510.18	ドカライ <程度のひどいものと言う>	カライ
7503.11	karae ([ai] は [ae] であつた)	
7659.40	parerowa <舌がヒリヒリする>	
8343.97	karaka (049のときは kare のみで、ka-kare)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	① 普通注記	ページ
項目名 辛 <small>い</small>		[B 除いた共通語]	
		[C 除いた特殊語]	(14)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
	rakaは出まか <small>ん</small> が偶然か)	
8352.40	kaika 〈 <small>カ</small> 〉	kari
0238.55	N.R. 〈kutjinujamjuri (口が痛 <small>い</small>) と <small>う</small> .〉	
0294.66	harasa 〈harasanという人もある。〉	
0294.93	harasan, harasaでも終止する。	
0340.00	N.R. 〈唐辛子はあるか、言いようもなし〉	
1156.89	karaha, 語尾のNは省略される。	
123.76	harasaji, harasaで終止すること <small>も</small> <small>あり</small> 。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	<input checked="" type="checkbox"/> A 普通注記 <input type="checkbox"/> [B] 除いた共通語 <input type="checkbox"/> [C] 除いた特殊語	ページ (15)
項目名 辛い			

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
1271.05	hara θ an θ =!	
2141.61	kara (語幹で終止に用いる。からの意は kara:m)	
2150.17	kara θ udo: (「カラクソアム」の変化)	karamunu.

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の< >〔 〕〔 〕は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	A 普通注記	ページ
項目名 カライ (辛い)		(B) 除いた共通語	
		(C) 除いた特殊語	(/)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
3744.33	カレ	*カライ
4629.43	karai <改まったとき>	kare
4707.73	karai <上>	kare
4711.41	[karae] (ややていねいに言った場合)	[kare:]
5595.20	ko:baji:	karai
5643.33	karae <改まったとき>	kare
5644.74	カライ<共>	カレ<共>
5688.37	ヒリヒリスル、オーの答は、ヒリヒリスルという 答だったが、趣旨に合うように ないうで訂正して二番目においた。	カライ

5591.60. カライ

[karae:]

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	A 普通注記	ページ
項目名 辛い		(B) 除いた共通語	(2)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記〔B・C 除いた語形とその注〕	A 注のない語形〔B・C 残した語形とその注〕
5665.46	カライ〈新〉	カレエ
5686.31	karai〈希〉	karè:
6411.66	カライ	*カレ
6446.05	ヒリ、トスル	カライ
6552.71	ヨオキワナ	カライナ
6557.36	[nambayarai]	karai
6583.93	Karja:a:〈非常にからい時〉	karai, karja: rjは子に近くなる
6611.61	karai〈共〉	kare:
6624.65	karai 上	karæ:

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の < > () [] は厳密にする。

質問番号 050	地図番号 040	A 普通注記	ページ
項目名 辛い		(B) 除いた共通語	(3)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
7510.18	ヒカライ <のどへひかかるようなからさを言う。>	カライ ドカライ <程度のひとものを言う。>
8325.77	karai <±>	kare:
7361.17	ショッパイ <昔から使っている>	カラカ
2141.61	kara:m (語幹で終止に用いる。か らゐの意は. kara:m)	kara